

Monthly News

No.162

令和4年度 近畿部会第164回例会

■テーマ ワークショップ **近現代紙資料を実物で辿る**

■と き 令和5年(2023)3月18日(土曜日)
13時00分~16時30分

■場 所 京都芸術大学 直心館J-11教室
住所：京都市左京区北白川瓜生山2-116
■地下鉄北大路駅(バスターミナル)より
市バス204系統循環・銀閣寺方面「上終町・瓜生山学園京都芸術大前」下車
(所要時間約15分)
■京阪出町柳駅より
①市バス上終町3系統・上終町・瓜生山学園京都芸術大前行「上終町・瓜生山学園京都芸術大前」下車(所要時間約15分)
②叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分
以下のウェブサイトを参照のこと。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/access>

■報告者 大林 賢太郎 氏(京都芸術大学教授)

■定員 20名(下記のフォームより申し込み先着順 対面のみで開催です)

■参加費 個人会員・機関会員の方 参加費 無料
通信会員・非会員の方は、
参加費(材料費) 1,200円 が必要です。当日お持ちください。
※参加には、**事前のお申し込みが必要**です(お申し込み方法は下記参照)。

■お申し込み方法
必ず以下の参加フォームよりお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S81872802/>

■お申し込み締切
令和5年(2023)2月28日(火曜日)まで
(先着順ですので、予定より早く締め切ることがあります)

■内 容

近現代の行政文書などに用いられている紙資料の素材や筆記用具などにスポットをあてます。このワークショップを通じて、近現代の紙資料がどのような原材料により構成されているのか、筆記用具などとともに検証していきます。

歴史資料の保存にたずさわる仕事につく全史料協近畿部会会員を中心に、現場の技術向上につながるワークショップを開催しようというもので、さまざまな種類の歴史資料に関する基礎的な学習と保存や修復などの実践を2016年度から2018年度まで継続しておこなってきました。

また、2019年3月に開催して以来、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から長らく行ってきませんでした。4年ぶりの開催となります。広く近現代資料を扱っている方や、悩みをお持ちの方の積極的なご参加をお待ちしています。

■当日スケジュール

- ・ 12:45～ 開 場
- ・ 13:00～ 基礎講義、近現代紙資料についての概論
- ・ 1 基礎素材としての紙 明治期の和紙・洋紙
- ・ 2 新しい筆記具 ペンとインク・鉛筆
- ・ 3 複写カーボン複写とコピーインク複写
- ・ 4 印刷 ガリ版
- ・ まとめ 近代紙資料の保存・修理の課題
- ・ 16:30 ワークショップ終了

※アンケートを実施する予定です。



■お問い合わせ先

全史料協近畿部会事務局 : 徳島県立文書館

MAIL: jsai_k@bunmori.tokushima.jp 住所: 〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山

TEL: 088-668-3700 FAX: 088-668-7199